

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21・48	身体機能の低下・認知症の進行 レクリエーションの内容のマンネリ化	レクリエーションの充実をはかり、進行予防に努める。	午前・午後と時間を設け、今まで以上に積極的にレクリエーションを行う。又、レクリエーションの内容についても検討する。	一年間
2	35	災害時を想定し、地域住民に協力依頼をし訓練を行っているが、見学のみで終わってしまっている。防災ベル・回転灯を目印に、いち早く駆けつけ避難誘導に協力いただける関係を築く必要がある。	近隣住民と、災害時等 積極的に協力いただける関係を作る。	非難訓練前に地域の方々との話し合いを持ち、協力依頼し、協力内容・改善点等の確認を行い、密な訓練が行えるようにする。	一年間
3		地域行事には可能な限り参加しているが、ほとんどが見学状態になってしまっており、あまり関わりを持っていない。そのため、避難訓練等で協力依頼をしても、やはり地域の方々も見学に終わっていることが多い。	地域の方々との親睦をふかめ、施設・入居者を理解していただくことにより、協力体制の強化に努める。	地域の方々を招待し、お茶会やレクリエーション等の機会をもち、親睦を図り理解を深める。	一年間
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。